

2024年1月29日
商工中金

電子機器の受託製造を行う京西電機株式会社様に対して、
ポジティブ・インパクト・ファイナンスを適用した
総額 13 億円のシンジケートローンを組成

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（八王子支店）は、京西電機株式会社様（本社：東京都八王子市、代表者：田野倉 寛様）に対し、親会社を通じて総額 13 億円のシンジケートローンを組成しました。商工中金がアレンジャーを務め、三菱 UFJ 銀行、横浜銀行、多摩信用金庫、山梨中央銀行が参加し、地域金融機関等との協調により、その組成が実現したものです。なお、本融資には、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、電子機器の製造や電源の設計・開発を手掛けています。設計から試作、量産、保守までワンストップサービスを提供。また、カスタム製品の提供により多種多様な顧客ニーズに対応しています。

今回同社は、CO2 排出量の削減や働きやすい職場環境の整備等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【本シンジケートローンの概要】

組 成 金 額	9 億円（コミットメントライン）、 4 億円（タームローン）	合計 13 億円
アレンジャー兼エージェント	商工中金	6.6 億円
参 加 金 融 機 関	三菱 UFJ 銀行、横浜銀行、多摩信用金庫、山梨中央銀行	合計 6.4 億円
契 約 締 結 日	2024 年 1 月 26 日	

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



【京西電機株式会社様の概要】

所在地	東京都八王子市千人町四丁目7番17号
代表者	田野倉 寛 様
業種	EMS事業（基板実装、装置組立） 電源事業（カスタム電源設計・開発）
資本金	4,455万円
従業員数	123名（2023年9月時点）
設立	1964年2月



【山梨工場】

（※）「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして㈱日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

